

*fromNow White Paper*

---

## カーシェアリングのコストとメリット

～「所有から利用」に向けた確かな選択～

株式会社フロム・ノウ

F13010001

from**Now**  
for the better ageless life.

## 第1章 カーシェアリングの利便性

---

「所有から利用へ」という考え方はカーライフにも波及している。これまでもマイカーを持つことに加えて、レンタカーを利用するという方法があったが、昨今ではカーシェアリングというもう1つの選択肢が浮上している。本レポートでは、「所有から利用へ」を視野に入れて、レンタカーとカーシェアリングにおける利便性およびコストについて比較分析を行う。

### カーシェアリングという選択肢

---

マイカーを持つことが1つのステータスであった時代は終わろうとしており、若者を中心にクルマ離れが進んでいるといわれる。自家用車を持つことが生活上必須といえる地方部は別として、都市部に居住する人であれば、自動車税、車検代、車庫代、修理代などの維持費、洗車や点検の手間などを考えると、必要な時にレンタカーを借りるというのも1つの考え方といえる。コストに関しては後述のコスト・シミュレーションの結果を紹介しながら、詳しく述べるとして、まずはレンタカーと比較した時の利便性について考えてみよう。

さて、その前にカーシェアリングの仕組みについて簡単に紹介しておこう。カーシェアリングは、あらかじめ登録した会員間で特定の自動車を共同利用するサービスを指している。カーシェアリング用の自動車は専用の駐車場に置かれ、無人管理されている場合が多い。登録した会員は、自分が借りたい場所（自宅や旅先の駅など）の近くのカーステーションを探し、インターネットや電話で利用開始・終了時間を指定して予約を入れておく。カーステーションの検索は、たいていPCやスマートフォンからもできるようになっている。実際に自動車を利用する際は、予約時刻に駐車場まで出向き、会員証（非接触式ICカード）などでドアロックを解錠し、車内（ダッシュボードなど）に設置されたキーで利用することができる。返却の際は、通常借りた所と同じカーステーションに駐車し、会員証をかざしてドアロックするだけでよいため貸し借りの手間が少ない。レンタカーの場合利用時間はある程度長時間（最低でも6時間など）を想定しているが、カーシェアリングの場合、一般に時間の単位が細かく設定でき、10分単位で利用できるところもあるため、ちょっとした用事や近隣の買い物などに使うには安価で便利である。

### レンタカーとカーシェアの利便性の比較

---

レンタカーとカーシェアリングを利便性という観点から比べてみよう。

まずは、借りる場所についてであるが、レンタカーは営業所が駅前や空港付近などに設置されていることが多く、一般的に他の交通機関との連携性が高いのが特徴といえる。旅先の主要駅や空港まで電車や飛行機で行き、その先でレンタカーを借りると

いう使い方に向いている。一方、カーシェアのステーションは、住宅地や繁華街の駐車場に多く設置されており、自宅から徒歩でいくことができる利便性をメリットと感じる人も多いだろう。

貸出し・返却の手軽さという点ではカーシェアリングが勝っていると考えられる。個人的な感覚ともいえるが、レンタカーを借りる際の、運転免許証の提示、損害保険などの説明、車の回りを一周まわって傷を確認といった作業が煩わしいという声はよく聞かれる。カーシェアリングの場合は基本的に無人対応で、会員カードを自動車にかざすだけで貸出し・返却を行うことができる。また、レンタカーは基本的にガソリンを満タンにして返却しなければならないが、カーシェアリングでは、ガソリンが残り少ない場合以外は、給油する必要がないというもの快適である。

一方、車種の種類という点ではレンタカーが圧倒的に優位といえる。カーシェアリングの場合は、基本的に1つのカーシェアリングステーションに1台のみが設置されており、コンパクトカーが中心であるため車種の種類が狭い。大勢で出かけたり、大きな荷物を運搬したりしなければならない場面では、RV車やワゴン車など多様な車種を取り揃えているレンタカーを選ぶこととなるだろう。

それぞれのメリットとデメリットを図1にまとめたが、それぞれに一長一短といえる。自分の自動車に対する活用シーンを想像し、それに適合した選択をすることが肝要となるだろう。

図1 カーシェアリングとレンタカーのメリット／デメリット

	カーシェアリング	レンタカー
メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 10分～15分単位といった細かな時間設定ができるため、短時間利用の場合割安となる</li> <li>• 貸出し手続きが簡単である(基本的に無人対応で、会員カードを自動車にかざすだけで利用できる)</li> <li>• ガソリンが残り少ない場合以外は、給油する必要がない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 会員登録などの必要がなく、どのレンタカー事業者のサービスも気軽に利用できる(ただし、会員登録をすると割引サービスが得られる場合がある)</li> <li>• 軽自動車からRV車、ワゴン車など多岐にわたる車種から選ぶことができる</li> <li>• 駅や空港など交通の拠点から便利なところに営業所がある</li> </ul>
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 事前に会員登録をして、会員証(認証カード)を入手しておく必要がある。そのため、通常1つのカーシェアリング事業者のサービスしか受けられない</li> <li>• 毎月の基本料金として固定費が徴収される(ただし、固定費ゼロの料金プランを用意している事業者もある)</li> <li>• コンパクトカーが中心で、車種の選択の幅が狭い(基本的に1つのカーステーションに1台のみ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 概ね6時間からという時間設定となっているため、短時間利用だと割高となる</li> <li>• 利用の都度、貸出し手続きを行う必要がある(車体の傷のチェックなど、ある程度時間を要する)</li> <li>• 通常は、ガソリンを満タンに給油してから返却しなければならない</li> </ul>

出典：fromNow

## 第2章 カーシェアリングのコスト・シミュレーション

---

第1章では、カーシェアリングとレンタカーを利便性の面で比較したメリット/デメリットについて述べたが、ここでは、最も気になるコストについて一定の条件を設定して比較してみよう。

### コスト比較の前提条件

---

マイカーを所有せず必要な時に借りる場合、レンタカーとカーシェアリングとではどちらがコスト面で得かというのは非常に気になるポイントといえる。レンタカーとカーシェアリングとでは料金体系が異なるため、使い方によってレンタカーの方が安い場合もあれば、カーシェアリングがお得な場合もある。まずは、それぞれの料金体系の違いについて簡単に述べておこう。

レンタカーは言うまでもなく、借りる都度の時間単位の料金設定となっており、特に会員登録をする必要はないため、入会料や会費は必要ない。ただし、ほとんどのレンタカー事業者では、無料または有料の会員登録をしてメンバーになっておくことで割引特典が得られるサービスを提供している。利用時間はある程度長時間（最低でも6時間など）を想定したプランが用意されている。つまり、1時間だけの利用であっても6時間分と同じ金額を支払わなければならない。ガソリン代は基本的に実費であり、満タンにして返すのが一般的だ。

これに対してカーシェアリングは、最初に会員登録が必要であり、入会金または認証用のICカード発行手数料という形で1,000円から7,000円程度の初期費用がかかる。ただし、会員を増やすために頻繁に初期費用が無料となるキャンペーンを実施している事業者もある。利用料は、携帯電話の通話料のように月額基本料と利用の応じた従量制の二階建て方式の料金体系となっているのが一般的である。事業者によって毎月1,000円から2,000円の基本料が課せられ、1回も利用しない場合も、プランに設定されている基本料は徴収される。従量制料金は一般に時間料金と距離料金の二本立てとなっている。時間料金は、時間の単位が細かく設定でき、10分単位で利用できるところもある。時間料金は、事業者によって異なるが概ね10分ごとに100円から200円程度となっている。長時間利用の場合は、6時間パックや12時間パックといった割安なパック料金が用意されている。距離料金は、走行距離に応じて1kmあたり10円から20円程度となっている。その代わり、ガソリン代は、これらの料金に組み込まれており別途支払う必要はない。

### 利用時間にみるコスト比較

---

それでは、一定の条件を設定してレンタカーとカーシェアの料金を比較してみることとしよう。

まず、レンタカーはニッポンレンタカーの無料登録会員であるスーパーレッドメンバーのメンバー料金で、カーシェアリングで一般的に採用されているフィットやデミオといったコンパクトカー（S-Sクラス）をロードサービスや返車時間超過安心サービスなどのついた安心コースで借りることとする。20km（新宿－上野間の往復に相当）を走行することとし、コンパクトカーの平均燃費とガソリン代相場を基にガソリン代を加算した。

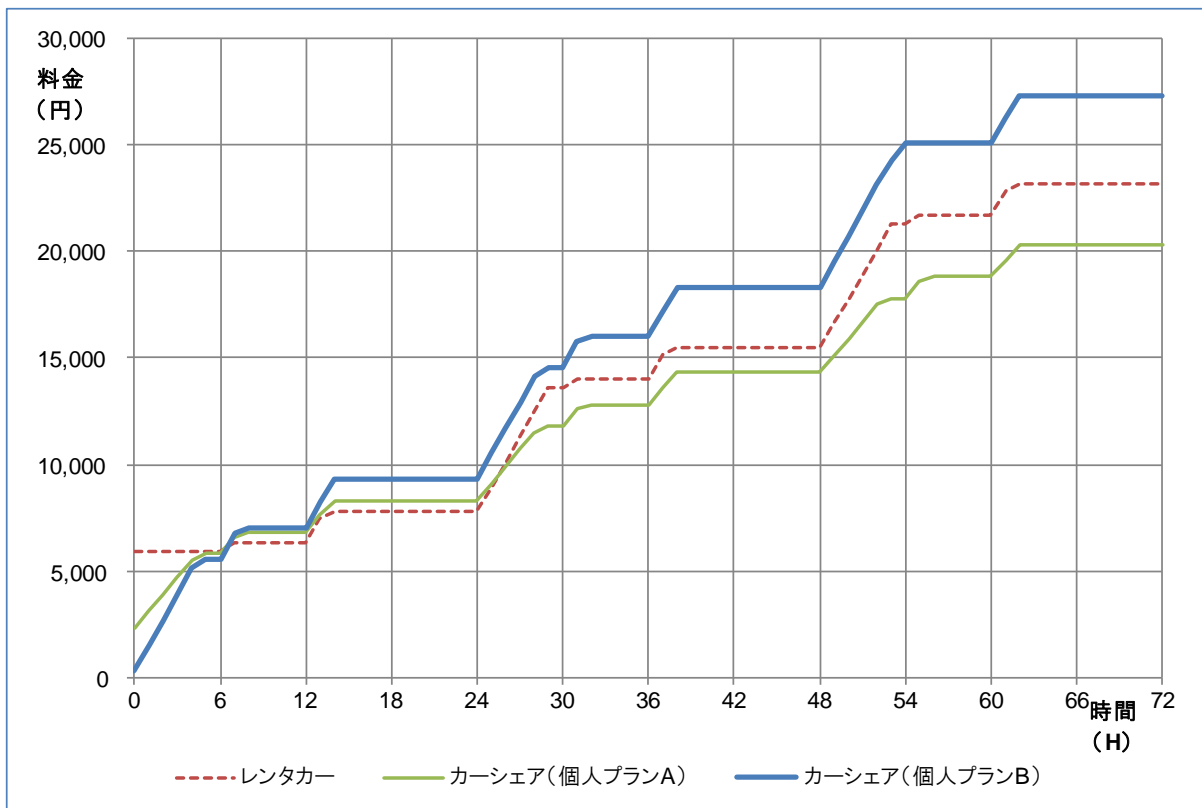
カーシェアリングは、オリックスカーシェアの会員となり同様のコンパクトカーを利用することを想定している。オリックスカーシェアでは、月額基本料2,000円を支払って割安の時間料金が利用できる個人プランAと、業界では珍しく時間料金は割高だが月額基本料がゼロの個人プランBの2つのプランを用意している。個人プランAでは月額基本料がかかるため、月1回利用することを想定して2,000円を加算した。どちらのプランでも同じく20km走行することを想定し、距離料金300円（1kmあたり15円）を加算した。

ちなみに、この距離料金の1kmあたり15円という価格設定はどのようなものであろうか。コンパクトカーの平均燃費（国土交通省自動車燃費一覧から試算）が18.92円/km、ガソリン代相場（東京での2012年12月時点）が137円/ℓで計算すると1km走行あたり7.24円となるため、レンタカーのように自分で給油するよりも2倍の金額となる。給油の手間を考慮してもやや割高感があることから、長距離の利用が多い場合はレンタカーの方がお得になることが多いと考えられる。

これらの前提条件を設定して、1回利用する際の利用時間と料金をシミュレーションした結果を図2に示す。

6時間以下の利用であれば、カーシェアリングのどちらのプランもレンタカーよりも安価となる。短時間の利用が多いという利用者の場合はカーシェアリングの方がお得ということだ。月額基本料がかからない個人プランBにおいては、6時間を超えるとレンタカーよりも割高となる。一方、月額利用料を支払う個人プランAの場合は、7時間から25時間まではレンタカーよりも割高だが、26時間を超えると逆転しカーシェアリングの方に軍配があがる結果となった。しかし、これはあくまでもカーシェアリングを月1回利用した場合の比較であり、それほど頻繁に利用しない場合は、月額基本料の負担割合が大きくなるため損益分岐点は変わってくる。逆に、月一回以上利用するというのであれば、月額基本料の加算分は減少し、カーシェアリングの個人プランAが割安となるケースが増える。利用回数による損益分岐点の変化については、この後、その利用シーンとあわせて紹介することとしよう。

図2 利用時間に見るカーシェアリングとレンタカーのコスト比較



＜前提条件＞

レンタカー：ニッポンレンタカー（スーパーレッドメンバー料金／S-Sクラス／通常時／安心コース／ネット予約）  
 カーシェア：オリックス・カーシェア（コンパクトカー／個人プランAは月1回を想定した基本料を加算）  
 ガソリン代：1kmあたり7.24円（国土交通省自動車燃費一覧およびガソリン代相場よりコンパクトカー平均を算出）  
 走行距離：1回の利用ごとに20kmを走行する

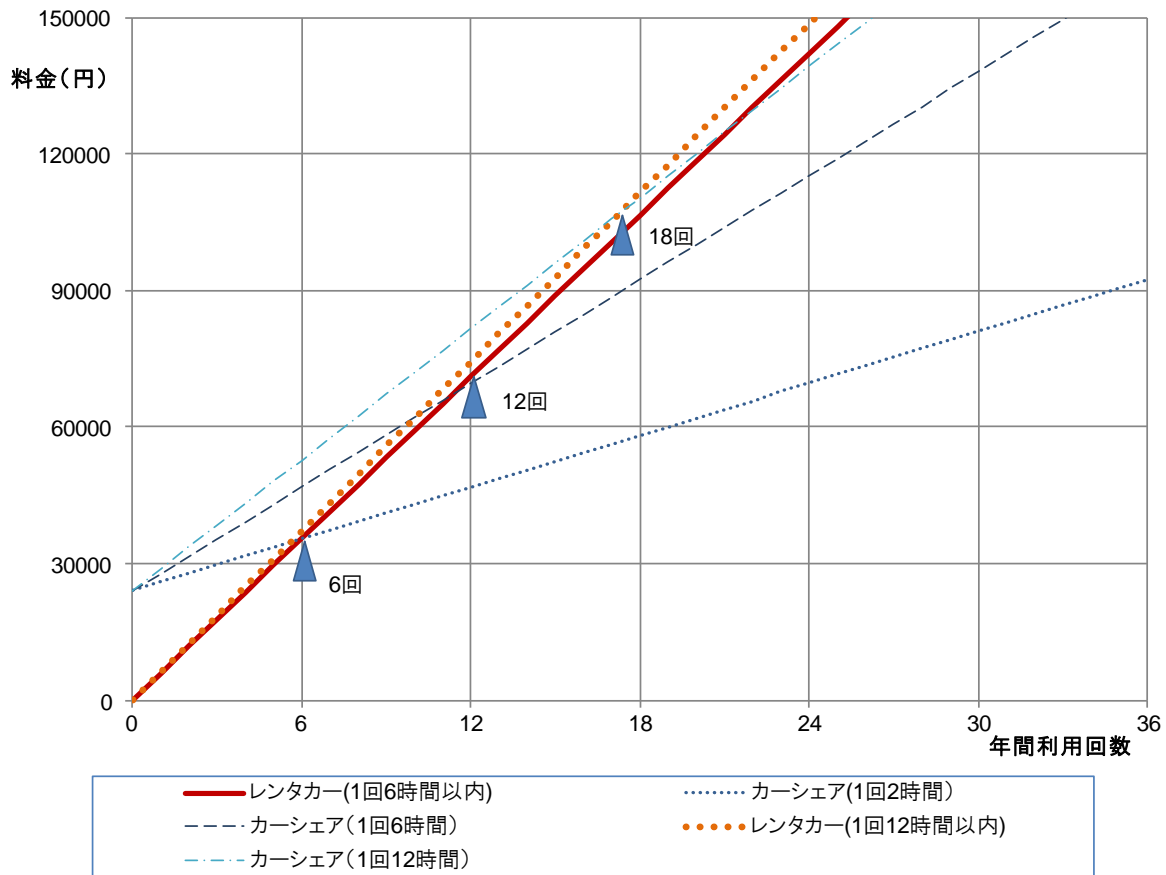
出典：fromNow

利用頻度に見るカーシェアリングとレンタカーの損益分岐点

つぎに、利用頻度の観点から両者のコストを試算し、カーシェアリングを利用した際の損益分岐点を探ってみよう。

カーシェアリングの場合、使っても使わなくても月額基本料金がかかる（前に述べたオリックスカーシェアの個人プランBのような月額基本料金ゼロのプランは例外）。したがって、1年間に何回利用するかによって、レンタカーとカーシェアリングの損益分岐点は変わってくることになる。1回あたり20km走行することを想定して利用時間が2時間、6時間、12時間の場合のコストを試算してみた（図3）。

図3 利用頻度にみるカーシェアリングとレンタカーのコスト比較



出典 : fromNow

まず、1回あたり2時間という短時間利用の場合をみてみよう。レンタカーでは6時間以下の料金が一律のため割高になってしまうことから、月額基本料24,000円（1カ月2,000円×12カ月）を加味しても、1年間に6回以上利用すればカーシェアリングの方が割安となる。

つぎに、1回あたり6時間利用の場合はどうなるであろうか。レンタカーにもカーシェアリングにも6時間パック料金があるが、この場合年間12回以上利用すればカーシェアリングの方がお得ということになる。

もう1つ、1回あたり12時間という比較的長時間を利用した場合はどうなるであろうか。この場合もレンタカーとカーシェアリングの両方で12時間パック料金が利用できるため、これをもとに試算した。この場合、年18回以上利用する場合はカーシェアリングに軍配が上がる結果となった。

つまり、カーシェアリングはレンタカーと比べて、短時間で多頻度の利用においてコストメリットが大きいということになる。



## 利用シーンに合った賢い選択

このように1回あたりの利用時間や1年間当たりの利用回数によってレンタカーがお得な場合とカーシェアリングがお得な場合があることがわかった。そこで、いくつかの利用シーンを想定して、それぞれの賢い選択について考えてみよう。

① 近隣の病院・治療院への通院：往復10km（新宿～六本木間往復に相当）の走行で、1週間に1回（年間50回）、1回あたり3時間の利用を想定する。

	基本料金	時間料金	距離料金・ガソリン代	合計 (1年間)
レンタカー	—	288,750	3,621	292,371
カーシェアリング	24,000	120,000	7,500	151,500

このような短距離・多頻度の利用ではカーシェアリングが約半額と圧倒的にお得である。

② 中距離のショッピングセンターで買いだめ：往復50km（新宿～川崎間往復に相当）の走行で、2週間に1回（年間24回）、1回あたり6時間の利用を想定する。

	基本料金	時間料金	距離料金・ガソリン代	合計 (1年間)
レンタカー	—	138,600	8,690	147,290
カーシェアリング	24,000	84,000	18,000	126,000

中距離で月2回程度の利用においては、両者のコストは拮抗する。上記の条件においてはカーシェアリングの方が少し安い。

③ 月1回のサンデーゴルファー：往復150km（新宿～成田間往復に相当）の走行で、1カ月に1回（年間12回）、1回あたり12時間の利用を想定する。

	基本料金	時間料金	距離料金・ガソリン代	合計 (1年間)
レンタカー	—	74,340	13,035	87,375
カーシェアリング	24,000	54,000	27,000	105,000

比較的長距離で月1回程度の利用では、カーシェアリングにおける距離料金の負担が大きくなりレンタカーの方が割安となる。

このように、活用シーンによってどちらがお得かは変わってくる。多くの利用者は、ここで示したような①から③のいずれかの利用パターンではなく、これらを組み合わせた複合的な使い方をするのが一般的ではないだろうか。ちなみに、上記の3つの活用シーンをすべて合わせて、週1回短距離・短時間利用し、さらに月2回程度中距離、

月1回長距離長時間を利用するとしたら、以下のような結果となる。

④ 上記①から③の複合的利用：週1回短距離・短時間利用し、さらに月2回程度中距離、月1回長距離長時間を利用する。

	基本料金	時間料金	距離料金・ ガソリン代	合計 (1年間)
レンタカー	—	501,690	25,345	527,035
カーシェアリング	24,000	258,000	52,500	334,500

これほど自由に活用したとしてもカーシェアリングの年間コストは33万円程度となる。駐車場代、車検代、自動車税などの維持費を考えると、マイカーの保有コストよりも安いと感じる利用者が多いのではないだろうか。自分のライフスタイルに合わせて賢い選択をすることが望まれる。

分析: 内山 悟志  
text by Satoshi Uchiyama

---

**fromNow White Paper**

**カーシェアリングのコストとメリット**

～「所有から利用へ」に向けた確かな選択～

F12010001

発行 2013年1月7日

発行所 株式会社フロム・ノウ

〒107-0061

東京都港区北青山1丁目4番4号 北青山ビル5F

TEL : 03-4590-8132 (代)

FAX : 03-5474-0603

E-Mail : info@fromnow.co.jp

本書に記載された全ての内容については株式会社フロム・内が著作権を含めた一切の権利を所有します。無断転載、無断複製、無許可による電子媒体等への入力を禁じます。

本書に記載されている会社名、商品名等は各社の商標または登録商標です。

---